

平成 27 年 7 月 21 日

## 7 月の木材価格・需給動向

### 1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は価格下落による生産調整と天候不順で大幅に減少。荷動きは製品需要の回復が鈍く、製材工場の在庫増から丸太調達意欲は極めて低調。スギは柱材が入荷減で需給が引締まり、ヒノキは全般に回復の兆しはあるが、好転までには至らない。丸太は出材減だが価格反発とまでには至らない。スギは柱材が下げ止まり保合、中目材は 4m が弱含み、3.65m が強含み。ヒノキは柱材が低迷のまま横這い、中目材は弱含みで推移。

群馬の製材工場の操業状況は通常な中、徐々に製品が動き出していることや虫害の懸念から、原木在庫解消のため中間製品を増やしている状況。構造材に多少の荷動き感あるが、羽柄材は依然悪く、役物は製品市場からの引合いがほとんど無い状況。製品在庫は羽柄と柱等の角材に荷余り感。原木の入荷は梅雨と価格低迷で減少。原木在庫は十分な手当が進んでいるが、虫害の懸念から抑え気味。製品価格は低位安定状態で変わらず。

### 2. 米材

輸出向け丸太は、日本・中国とも引合い低調だが、伐採減により原木港頭在庫は減少。米国内製材品価格は 5 月中旬に底打ちし続騰中。2 月以降の連続値下げで中小手山持ちの伐採意欲が減少し、輸出用港頭在庫は急速に減少。ウェアハウザー社の 7 月積み対日米マツ価格は、6 月積比 \$ 15 アップ。5 月の米材丸太の入荷は 240 千 $m^3$ で依然低調。出荷は 247 千 $m^3$ で若干持直し。在庫は前月比横ばいで 1.1 か月分。国内の大手港湾製材工場は、バラツキはあるが製品販売が回復傾向。プレカット工場の稼働率も回復基調だが、依然力強さに欠ける展開。米加針葉樹製材品協定に基づくカナダから米国への輸出税は 7 月から更に 10% →15%にアップ。

米製材品の TLT(東京木材埠頭)6 月の入荷量は 25.9 千 $m^3$ (前月比 4.7%減)で 2 ヶ月連続減、出荷量は 31.7 千 $m^3$ (同 4.5%増)で 3 ヶ月連続増。在庫量は 46.0 千 $m^3$ (同 12.5%減)で大幅減。ランダムレングス紙 15 種平均価格は、6 月末で \$ 346/ $m^3$ と値戻し底値を脱した。5 月の米国新設住宅着工は年率 1,036 千戸で、対前年同月比 5.1%増。大手サプライヤーの QTR3 積ベイマツ小角は 51-53 千円/ $m^3$ 、根太・筋交は 53-55 千円/ $m^3$ で決着。日本市場は値上げ迫力無く、円安の状況下で

決着値より安価で交渉したが、現地丸太の価格低迷、採算悪化でこれ以上の値下げは不可。6月も仕事に迫力なく当用買いの動き。在庫水準も低く国産材の動きにもよるがマーケットは締まってくると予想。

### 3. 南洋材

サバは好天だが断食月のため伐採・製材ともスローダウン。世界的な市況低迷とリングット安を背景に現地側に若干の歩み寄りの動きはみられるが、円安に相殺されコスト高は変わらず。サラワクは不法伐採と汚職撲滅の取締りが今後更に厳しくなると思われ、原木の出材減と製材工場の原木不足で現地木材業界は全般的に停滞。PNG ソロモンはマレーシアの原木出荷減少で各国の関心が高まり価格は依然強含み。丸太の入荷は増加、出荷は微増、在庫は増加、製材品入荷は横這い。丸太の販売は合板・製材用とも変化なく、製材品は価格、荷動きとも横這いのまま。

### 4. 北洋材

シベリアは丸太の出材減で一部の製材メーカーに影響、対日向け最終製品が生産できず、急遽日本向け輸出丸太を手当。このためアカマツ丸太は10月以降の入港。富山新港の6月の丸太入荷は1.0千 $m^3$ 、製品入荷は9.9千 $m^3$ 。丸太在庫は4.6ヶ月分。丸太価格はオファー少なく保合。エゾマツ\$140、カラマツ合板用\$130、アカマツ\$175-180。製材品は現地挽きがABグレード保合、国内挽きは弱含み。原盤価格は7月に入り高値傾向で\$350-355。荷動きは現地挽きアカマツ低級製品が在庫増で低調。国内挽き製品は垂木を除き全体的に低調。国内の北洋材製材工場は不採算。稼動状況は丸太減少で生産調整続き丸太製材は更に縮小。受注状況は住宅用が低迷し、非住宅用の比率が増加。

### 5. 合板

原料丸太のうち国産材価格は、スギ、カラマツともに横這い。米材、ロシア材はやや弱い。南洋材は丸太の集荷難が続き、価格も相変わらず高値で張り付いたまま。5月の国内総生産量21.9万 $m^3$ のうち針葉樹合板は20.6万 $m^3$ 、出荷量は20.1万 $m^3$ で生産量が出荷量を上回る。在庫量は更に増え26.6万 $m^3$ と高水準の状態。

国産針葉樹合板は6月に入っても下げ相場が続いたが、中旬の大手メーカーの値上げ・減産アナウンスで様相は一転し市場は混乱。全体的には需要が盛り上がらない中で今後はメーカーの減産実行性が問われる。輸入合板は先高観が浸透している中、12mm系の荷動きは好調。その他普通合板の荷動きは落ち着いており、価格も今のところわずかな上昇に留まる。先行き国産針葉樹合板は今

後定期的に値上げの方向とのことだが、減産の実効性が課題。輸入合板は現状値上げに徹した商社の思惑通りに市場は引き締まっているが、需要環境から先行きは若干緩むものと予測。荷余り品目は無く、品薄品目はラワン構造用 9mm と厚物。

## 6. 構造用集成材

原料ラミナの入港は順調。QTR3 交渉で現地は船賃アップを理由に値上げを唱えるも、日本側は必要量のみの手当となる模様。7 月中に契約完了の見込み。7-8 月は€高の為替レートのもが入荷するため、ラミナ価格着値は上昇。6 月の受注は一服感があり、プレカット工場の当用買いが続く。7 月初旬の荷動きは横這いだが、中旬以降は動きが見える。販売先行きは輸入手当が少ないため秋から動き出すと予測。価格は 6 月で下げ止まり、7 月は横這い又は若干の値上げ。輸入集成材は 7 月が現地夏休みと円安でオファーは少ない模様。今年は慢性的な入港遅れで、このまま契約が少なければ 9 月頃から入港は一段と少なくなる模様。スギ集成材が割安で WW からの切り替えが目立つ。WW 間柱は年内品薄傾向。

## 7. 市売問屋

国産材の構造材は、新築需要が少なくスギ、ヒノキ等の柱、土台角は依然として低調。造作材は小粒ながらリフォーム需要が続いており、内装用は引取り・注文多い。建具用は動き悪い。外材の構造材も国産材同様実需乏しく、まとまった動き少ない。造作材は建築用の米ツガ、スプルース、米ヒバの動きはまずまずだが、建具用は低調な動き。記念市にはそこそこの来場はあるが、特殊品を除き模様眺め多く、当用買い状態が続く。一部に景気上昇とあるが、実感は程遠い状態。

## 8. 小売

国産材の構造材はスギ柱・間柱、ヒノキ土台・柱とも弱保合。外材は、ロシアアカマツタルキは保合、米ツガ KD 角、平割とも保合、SPF 保合、WW 間柱保合。造作材はスプルース良材、ナラ、タモ保合。集成材は WW、RW 梁、柱とも弱保合。合板は針葉樹が先月までの安売りから一転し値上げ。ラワン構造用は強保合。床板・フロア保合。プレカットは受注状況が幾分改善。町場工務店の新築、リフォームとも若干の動きあり。

7月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	↗	↗	↗
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	↘	↗	→
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記の様に示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸 入 量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	↗	↗	↗

3. 価格動向

樹材種	形 状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	↘
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	↗
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	↘
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	↘
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
		スギタルキ3.0×4.0×4m	→	
		ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→	
		ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→	
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↗
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ カスケード (カナダ産)	→
			米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8” 13’	↘
		米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16” 13’	↘	
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→	
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	→
	東京・問屋店頭 渡し価格	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→	
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ(KD)30×40 AB	↗
			アカマツ(KD)15×45AB 18×45AB	↗
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↗
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	↘
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↘
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗